

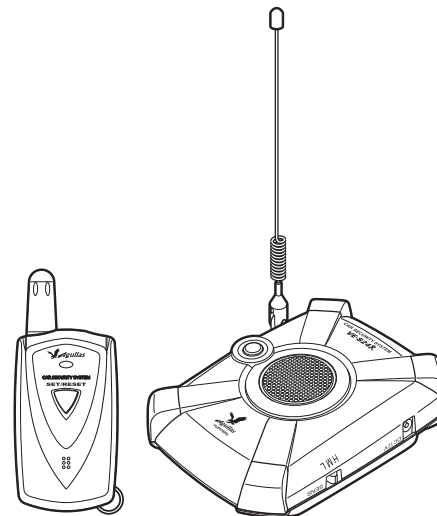
保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(裏面記載)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。
保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番	VE-S24R		S/No.	
お買い上げ日	年	月	日	保証期間 お買い上げの日から1年間 (電池等消耗部品を除く)
お客様	お名前			
	ご住所	〒 TEL () 様		
販売店	店名	住所		

上記に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書等、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

株式会社ユピテル YUPITERU



国産12V車専用

このたびは、ユピテルのCAR SECURITY SYSTEM をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本機は、車内に装着し、衝撃やドアの開放を検知すると、光とサイレンの組み合わせにより警告・警報を発し、車上あらしや盗難を未然に防止する簡易型防犯装置です。

また本機は、電波法第四条「技術基準適合証明を受けた無線局」および電波法施行規則第六条「特定小電力無線局」に該当するテレコントロール用無線設備です。

△注意

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

CAR SECURITY SYSTEM

VE-S24R

取扱説明書 / 保証書

目次

はじめに

安全上のご注意.....	2
ご使用にあたって.....	3
各部の名称と働き.....	4

取り付けかた

センサーユニットに専用電池を装着(交換)する	5
サンバイザーに取り付ける	6
センサーユニットを充電する	7
リモコンの電源をONにする	7

使いかた

通信エリアの確認.....	8
本機の機能を設定する	9
威嚇パターンを変更する	10
警戒状態にする.....	12
警戒中に異常を検知すると(警告・警報/通報)	13
ローバッテリー通知について	14
警戒を解除する(警報停止)	14
リモコンの電池交換.....	15

その他

こんなときは?	16
仕様.....	17
アフターサービスについて	18
保証書	裏表紙

- リモコンの電源をONにしてからご使用ください。
- 7ページ「リモコンの電源をONにする」

株式会社ユピテル

〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。
また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

△警告： 警告を無視した取り扱いを
すると、使用者が死亡や重傷を負う
可能性があります。

△注意： 注意を無視した取り扱いを
すると、使用者が傷害や物的損害を
こうむる可能性があります。

絵表示について

- ⚠ △ 記号は注意を促す内容であることを告げるものです。
🚫 ⊗ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
❗ ● 記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

△ 警告

- 🚫 車内に人(特に子供)やペットがいるときには、警戒状態にしない…警告・警報機能が動いた場合、大音量を発生しますので、聴覚障害やストレスを与える恐れがあります。
- 🚫 水をつけたり、水をかけない。また、濡れた手でシガープラグコードの抜き差しや操作をしない…火災や感電、故障の原因となります。
- 🚫 運転中は絶対に操作しない…わき見運転は重大事故の原因となります。また、設定は停車中に、パーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。
- 🚫 穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。
- 🚫 機器本体および付属品を改造しない…火災や感電、故障の原因となります。
- ❗ 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に確実に取り付け…誤った取り付けや、不確実な取り付けはケガや交通事故の原因となります。
- 🚫 ワー、キャビネットを破損した場合は、すぐにシガープラグコードを抜き、専用電池を取り外す…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。
- 🚫 サービスマン以外の人、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。
- 🚫 バッテリーに直接接続しない…火災や感電、故障の原因となります。
- 🚫 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、電源コードが傷んだら使用しない…感電やショートによる発火の原因となります。
- ❗ シガープラグコードは確実に差し込む…シガープラグコードが確実に差し込まれていなかったり、異物が付着して接触不良を起こしている、火災の原因になったり、正しく動作しないことがあります。
- 🚫 煙が出ている、変な臭いがあるなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐにシガープラグコードを抜き、専用電池を取り外して、販売店に修理をご依頼ください。
- 🚫 12V車以外では使用しない…火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。
- 🚫 エアバッグの動作の支障となる場所に取り付けたり、配線しないでください…万一のとき動作したエアバッグで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、電源コードが妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。

ご注意 電波法について

- センサーユニット裏の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- 海外では使用しないでください。
- 分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

ご使用にあたって

使用上のご注意

ご使用前にセンサーユニットに付属の専用電池を装着し、2時間以上充電してください。
充電は、本機とシガーライターソケットに付属のシガープラグコードで接続し、車のエンジンをかけて(エンジンキーがACCまたはON)ください。

※警戒状態を長期間保つために、走行中に充電する(常時シガーライターソケットに接続)ことをお勧めします。

- 使用するときは、必ず車のウィンドウを完全に閉めてください。ウィンドウが開いていると、空気の振動や衝撃音を正しく検出できません。(オープンカーでは使用できません)
- 音圧センサー搭載のセキュリティシステム装着車とは併用できない場合があります。警戒や解除操作でセキュリティシステムが警報を発することがあります。

- リモコンでの警戒/解除操作は赤外線式のため、ビラーやボディカバーなどの遮蔽物があると操作できません。
- 強い雨や雹(ヒョウ)などが降ったときや、雨だれが車体にかかっているときにはウィンドウやボディへの衝撃を検知して警報する場合があります。また、地下駐車場など空調ファンの振動や音が発生している場所など、振動や騒音が発生している場所では、警報が発生する場合があります。

付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

- シガープラグコード(1)
- センサーユニット用専用電池(1)
- ボタン電池 CR2032(2)
※ボタン電池はリモコンに装着してあります。
- サンバイザークリップ(1)
- 取扱説明書/保証書(本書)

別売品のお知らせ

電源用直結コード
OP-20

シガーライターソケットを使わずに、アクセサリ系端子(ヒューズボックス)から直接電源をとる場合に使用します。(OP-20の他に市販の平型ヒューズタイプ電源取り出しコードが必要です)



本機は、センサーにより異常を検知し、警告・警報を発する簡易型防犯装置で、盗難を完全に防止できるものではありません。
また、本機の動作の有無にかかわらず発生した盗難事故、イタズラなどによる損害、被害に対しての責任は一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。

△ 注意

- ❗ 窃盗犯は複数であったり、パールやハンマー等を携帯している場合があります。
通報や警報で車輦を確認する際は、慎重に対応してください。

各部の名称と働き

センサーユニット

MODE(モード)スイッチ
警戒モードの変更や威嚇/パターンの変更ができます。

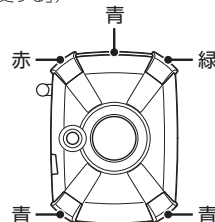
赤外線受光部

サイレン
作動音/警戒・警報音を出力します。
90dB/m

感度設定スイッチ
衝撃(強・弱)感度を3段階から選択できます。
※ 強衝撃と弱衝撃の感度は連動して設定されます。(個別に設定することはできません)

センサーユニット裏の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。

威嚇LED
10のパターンから変更可能
(▶10ページ「威嚇パターンを変更する」)

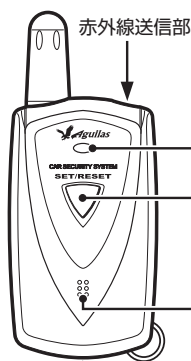


DC12Vジャック
付属のシガープラグコードを接続して、シガーライターソケットから電源を供給し、センサーユニット専用電池への充電を行います。

音圧センサー(内蔵)

ドアを開けたときやウィンドウ、ボディが強打されたとき、車内の空気の振動と衝撃音を検知します。

リモコン



インジケータランプ

リモコン操作時や通報時に点灯/点滅します。
弱衝撃・・・1回点滅します。
強衝撃・・・3回点滅を2.5秒おきに1分間繰り返します。
ドア開放・・・4回点滅を2.5秒おきに2分間繰り返します。

操作ボタン

電源のONや警戒/解除、通報音停止の操作ができます。
※警戒・解除操作はセンサーユニットから最大2m以内で操作できます。
(赤外線式)

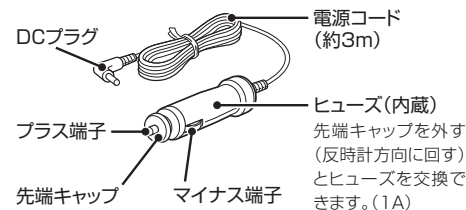
ブザー

操作確認音や通報(通知)音を出力します。
弱衝撃・・・『ビュー』が鳴ります。
強衝撃・・・『ビュービュービュー』が2.5秒おきに1分間鳴ります。
ドア開放・・・『ビュービュービュービュー』が2.5秒おきに2分間鳴ります。

ボタン電池 (CR2032)

電池が消耗すると、インジケータランプが点滅します。
(▶15ページ「リモコンの電池交換」)

シガープラグコード



△注意

シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずシガープラグコードを持って抜いてください。

センサーユニットに専用電池を装着(交換)する

本機をご使用になる前に、専用電池をセンサーユニットに装着してください。また、2時間以上充電をしてもすぐにローバッテリーになる場合や充電ができなくなった場合は、センサーユニットの専用電池を新しいものと交換してください。

交換手順

1. ① 電池カバー取り付けネジを外す

② 電池カバーを外す

電池カバーを取り外すときは、ツメに注意して外します。

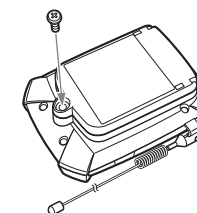
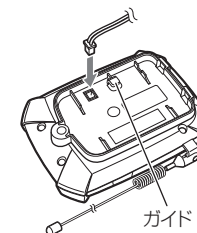
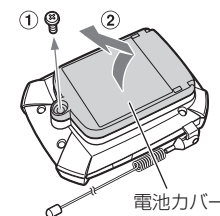
2. 電池カバー内のジャックに専用電池のコネクタを差し込み、新しい専用電池を収納する

- ケーブルをガイドに収めて収納します。
- 専用電池を交換する場合は、電池カバー内から専用電池のコネクタを抜き、古い専用電池を取り外してから新しい専用電池を取り付けてください。

3. 電池カバーのネジを締める

△注意

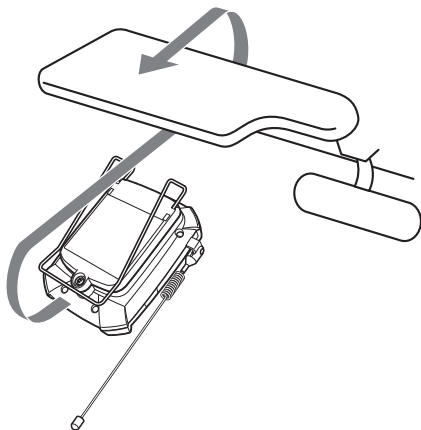
本機は、専用のニッケル水素電池を使用しています。安全のため、専用電池以外は使用できません。専用電池の購入は、弊社製品取扱店にてご注文ください。



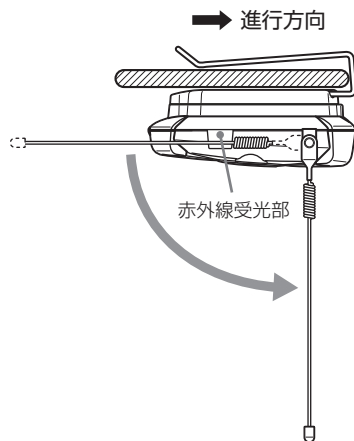
サンバイザーに取り付ける

センサーユニットを、付属のサンバイザークリップでサンバイザーに取り付けてください。

- 1 付属のサンバイザークリップをセンサーユニットに取り付け、サンバイザーに挟み込む



- 2 アンテナがなるべく垂直になるように角度を調整する



ご注意

赤外線受光部がピラー等に隠れないように取り付けてください。
リモコンでの警戒/解除操作は赤外線式のため、遮蔽物があると操作できません。

△注意

- ! 取り付けは、確実に行ってください。落ちたりすると、ケガの原因となります。
- 運転や視界の妨げにならない場所、また自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

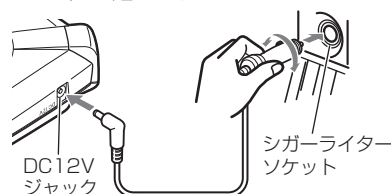
センサーユニットを充電する

お買い上げ時、センサーユニットの専用電池は十分に充電されていません。初めてお使いになるときや長期間お車をご使用にならなかった場合は、下記手順で充電を行ってください。

※12V車専用です。DC12V以外では使用できません。

- 1 付属のシガープラグコードを、DC12Vジャックと車のシガーライターソケットに差し込む

差し込みにくい場合、シガープラグコードを、2〜3回左右にひねりながら差し込みます。



- 2 車のエンジンをかけて、充電する
本機は、シガーライターソケットに接続しておくことで、車の走行中(エンジンキーがACCまたはON)に充電されます。

充電時間の目安

…専用電池の状態に応じて急速充電、またはトリクル充電を行い、約2時間でフル充電されます。
1時間以上の充電で、本機をご使用に出来ますが、満充電にはなりません。

※急速充電時は、ケースの一部が温かくなることがありますが、故障ではありません。

△注意

- ! • シガープラグコードは、必ず付属のものをご使用ください。
- シガープラグコード内部のヒューズが切れた場合は、新しいヒューズ(1A)と交換してください。シガープラグコード内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意し、順序を合わせて入れてください。
- 交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグコードを抜いてお買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

メモ シガープラグコードの形状が合わない場合や、シガーライターソケットに常時電源が供給される車は、別売OP-20をエンジンキーに連動してON/OFFする電源(アクセサリ電源)に接続して、ご利用ください。常時、電源が供給されている状態では、警戒できません。

リモコンの電源をONにする

お買い上げ時や、リモコンのボタン電池を交換後は、リモコンの電源はOFFになっています。ご使用前に、必ず電源をONにしてください。

電源ONの手順

操作音『ドミソド』が鳴るまで操作ボタンを押す(約5秒間)

インジケータランプが点灯(0.5秒間)し、リモコンの電源がONになります。



メモ

リモコンの電源がONになっていないと警戒/解除操作や通報を受信できません。

通信エリアの確認

リモコンで通報(通知)を受信できるエリア(無線が届く範囲)を確認することができます。
ご自宅と駐車場が離れている場合など、通信エリアの確認信号が受信できることをご確認のうえ
ご使用ください。

操作

センサーユニットの MODE(モード)スイッチ を5秒以上押す

- ※ 警戒解除の状態で『ピーピー
ピピ』音が鳴るまで(5秒以
上)押し続けます。
- ※ 3秒後に1度『ピーピーピッ』
音が鳴りますが、そのまま離
さず『ピーピーピピ』音が鳴
るまで、押し続けてください。

センサーユニットから通信エリアの確認信
号が定期的送信されます。(約10分間)

通信距離の目安(当社測定値)

都市部(ビル街)	150m~300m
郊外(住宅街)	300m~600m

ご注意

実用通信距離は一般的な電波環境での目安であり、
通信距離をお約束するものではありません。電波
の届かない地下や屋内では表記通信距離より短く
なることがあります。

確認

リモコンから約5秒ごとに『ピッ』が鳴 ります。

通信ができるエリア内にいると『ピッ』音が
鳴ります。
30秒以上音が鳴らない場合は通信圏外で
す。このような場合は、リモコンの置き場所
を移動して確認してください。

※ 通信圏外では通報を受信できません。

センサーユニットのMODE(モード)スイッ
チを3秒以上押すと終了し、警戒モード確認
音が鳴ります。(● 9ページ「警戒モードの
変更手順」)

自動警戒モードがONの場合、通信エリアの
確認終了後、自動的に警戒を開始します。

メモ

最初の通信エリア確認信号の送信から10分経過す
ると確認信号の送信を停止します。自動警戒モー
ドに設定している場合は、確認信号の送信終了の
約1分後に警戒を開始します。

※ シガープラグコードを接続していない場合は、
警戒を開始しません。

本機の機能を設定する

自動警戒モードについて

お買い上げ時 **ON**

本機はリモコン操作による警戒のほか、自動的に
警戒する自動警戒モードを搭載しています。自
動警戒モードをONに設定すると、以下の条件で
警戒状態となります。

※ 自動警戒モードはシガープラグコードを接続して
いる場合のみで使用になります。

エンジンキーをOFFにしてからドアを開める

ドア閉を検出するとセンサーユニットから
『ピピピ・・・』の連続音が5秒間鳴った後『ピュ』
音(サイレントモード時は無音)が鳴り、自動
的に警戒を開始します。

メモ

- ドア閉が検出できなかった場合や降車しなかった
場合は、エンジンキーをOFFにすると、約1分後
にセンサーユニットから『ピピピ・・・』の連続音
が5秒間鳴った後『ピュ』音(サイレントモード時
は無音)が鳴り、警戒を開始します。
- 警戒状態にたくない場合は、エンジンキー OFF
後にリモコンを操作すると警戒状態になりませ
ん。(● 12ページ「リモコンを使って警戒(警報停
止)する」)

サイレントモードについて

お買い上げ時 **OFF**

異常を検知した場合でもサイレンを鳴らさない警戒モードです。近所迷惑を気にすることなく、リモコ
ンへの通報およびスキャンニングLEDの威嚇による警戒ができます。

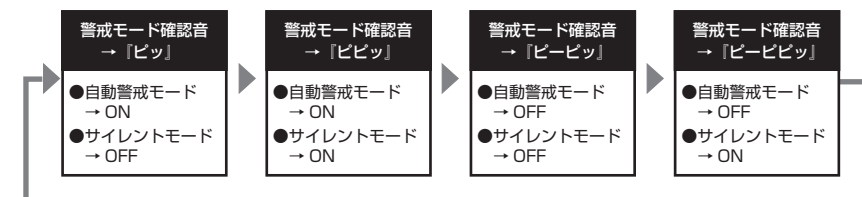
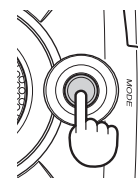
サイレントモード OFF	サイレンを鳴らす
サイレントモード ON	サイレンを鳴らさない

※ 音圧センサー搭載のセキュリティシステムと併用した場合、警戒、解除の際の作動音でセキュリティシス
テムが反応し、警報を発することがあります。このような車輛ではサイレントモードでご使用ください。

警戒モードの変更手順(自動警戒モード・サイレントモードのON/OFF)

エンジンキーをOFF後、センサーユニットのMODE(モード)スイッチを押すごと
に警戒モードを変更できます。

- ※ お買い上げ時は、自動警戒モードON・サイレントモードOFFに設定されています。
- ※ 自動警戒モードONを設定しても、シガープラグコードを接続していないときは自動
で警戒状態にはなりません。
- ※ 警戒モードは設定を変更しない限り、設定したモードで動作します。



メモ いずれの警戒モードを選択していても、異常検知時には、リモコンへの通報を行います。

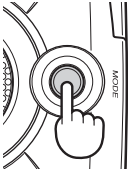
使
い
か
た

威嚇パターンを変更する

威嚇パターンを10パターンの中から選択できます。

威嚇パターン変更手順

1 警戒を解除した状態で、MODE(モード)スイッチを『ピーピーピッ』が鳴るまで押し続ける(約3秒間)



威嚇パターン変更モードになります。

2 リモコンの操作ボタンを押し、好みのパターンを選択する

リモコンの操作ボタンを押すたびにセンサーユニットから『ピッ』音が鳴り、パターンが変わります。

パターン10の状態が続けてリモコンの操作ボタンを押すと『ピー』音が鳴り、パターン1に戻ります。

3 変更した威嚇パターンを決定するには、MODE(モード)スイッチを3秒以上押し続ける、またはエンジンキーをACCにする

1分間リモコンのボタン操作が行われなかった場合は、表示中の威嚇パターンで決定します。

MODEスイッチを3秒以上押すと、威嚇パターン変更モードが終了し、警戒モード確認音が鳴ります。(● 9ページ「警戒モードの変更手順」)

自動警戒モードがONの場合、威嚇パターン変更モード終了後、自動的に警戒を開始します。

メモ

セキュリティが作動中に、選択したパターンで定期的に点滅し、威嚇効果を発揮します。

※ 消費電流は、パターン1が最も少なく、パターン10が最も多くなります。

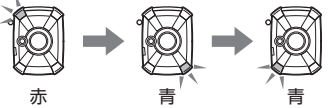
※ 連続で警戒可能な時間は、パターン1が最も長くなります。

連続で警戒可能な時間の目安(当社測定値)	
パターン1	約7日間
パターン10	約5日間

※ 連続警戒可能時間は、使用状況により変わります。あらかじめご了承ください。

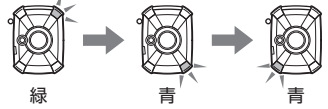
威嚇パターン一覧

パターン1



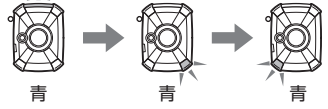
赤 → 青 → 青

約4秒後



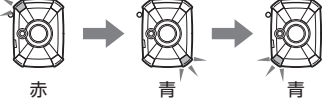
緑 → 青 → 青

約4秒後



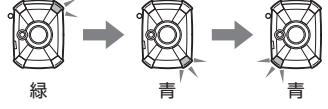
青 → 青 → 青

パターン2



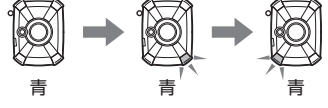
赤 → 青 → 青

パターン3



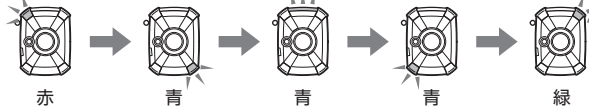
緑 → 青 → 青

パターン4



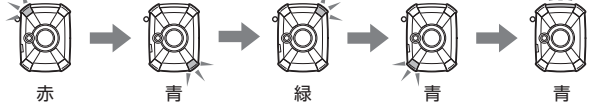
青 → 青 → 青

パターン5



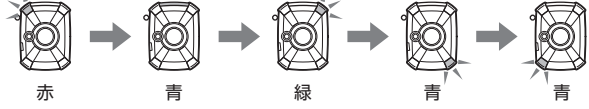
赤 → 青 → 青 → 青 → 緑

パターン6



赤 → 青 → 緑 → 青 → 青

パターン7 ※1



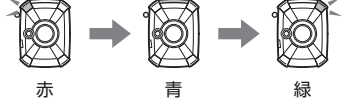
赤 → 青 → 緑 → 青 → 青

パターン8 ※1



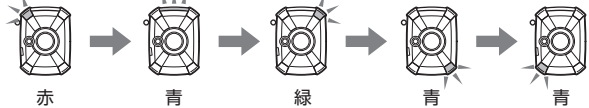
赤 → 青 → 青 → 青 → 緑

パターン9 ※2



赤 → 青 → 緑

パターン10 ※1



赤 → 青 → 緑 → 青 → 青

メモ パターン7と同じ点滅動作を行いますが、点滅を行うタイミングが変わります。

※1 表示のパターンが2周連続して点滅します。

※2 表示のパターンが4周連続して点滅します。

警戒状態にする

自動警戒モードで警戒する

自動警戒モードをご使用になる場合は、あらかじめ、シガープラグコードを接続して、自動警戒モードをONに設定してください。(●9ページ「警戒モードの変更手順」)

1 すべてのウィンドウを、完全に閉める

2 エンジン切る

本機はエンジンキーをOFFにすると警戒モード確認音(●9ページ「警戒モードの変更手順」)が鳴り、警戒可能な状態にあることをお知らせします。
※センサーユニットの専用電池容量が少ないときはセンサーユニットから「ブーッ」が鳴り、警戒できません。(●14ページ「ローバッテリー通知について」)

3 降車後、ドアを閉める



●リモコン操作または自動警戒モードにより警戒を開始すると・・・

センサーユニット	連続音「ピピピ…」が5秒間鳴った後「ピュ」(サイレントモード時は無音)音が鳴り、警戒を開始します。 スキャンニングLEDが設定されたスキャンニング動作を行います。(●10ページ「威嚇パターンを変更する」)
リモコン	通知音「ピュ」が鳴り、警戒の開始をお知らせします。(サイレントモード時は「ビュービュー」)

リモコンを使って警戒(警報停止)する

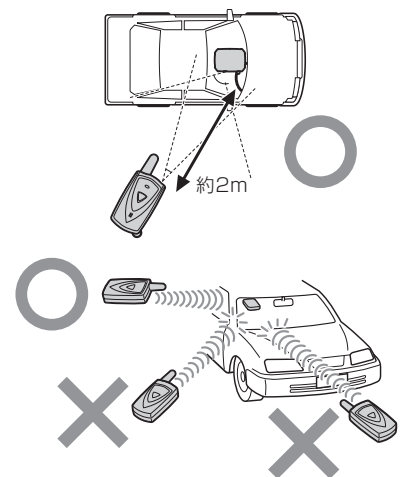
リモコン操作で警戒/解除の切替と警戒中の警報音を停止することができます。

リモコンの赤外線送信部を、センサーユニットの赤外線受光部に向けて、操作ボタンを確認音「ピッ」が鳴るまで押す

警戒中にリモコン操作を行うと警戒解除になり、警戒解除状態でリモコン操作を行うと警戒中になります。

●リモコンの操作範囲

- ・運転席側約2m以内
- ・センサーユニットの受光部は概ね下図のように、運転席ドア付近からの信号を受信できます。



操作上のご注意

- ・リモコン操作範囲内で操作してください。
※一部の車種では上記操作範囲よりも狭い場合があります。
- ・リモコンの赤外線送信部をセンサーユニットの赤外線受光部に向けて操作してください。
- ・センサーユニットの赤外線受光部に直射日光が当たっていると操作できないことがあります。
- ・リモコンでの警戒/解除操作は赤外線のため、ピラーやボディカバーなどの遮蔽物があると操作できません。

警戒中に異常を検知すると(警告・警報/通報)

警戒中にドアが開いたときや、衝撃を検知したときには、次のような動作や通報を行います。

	ウィンドウやボディに弱い衝撃を受けたとき(警告)	ウィンドウやボディに強い衝撃を受けたとき(警報)	ドアが開かれたとき(警報)
サイレン	『ビュー』が1回鳴ります。	『ビュービュービュー』が2.5秒おきに1分間鳴ります。 ※最初の3回は短い警報が鳴ります。	『ビュービュービュービュー』が2.5秒おきに2分間鳴ります。 ※最初の3回は短い警報が鳴ります。
スキャンニングLEDの青色	1回点滅をします。	3回点滅を2.5秒おきに1分間繰り返します。	4回点滅を2.5秒おきに2分間繰り返します。
リモコン	通報音『ビュー』が鳴り、インジケータランプが1回点滅します。	通報音『ビュービュービュー』が2.5秒おきに1分間鳴り、その間インジケータランプが3回点滅を繰り返します。	通報音『ビュービュービュービュー』が2.5秒おきに2分間鳴り、その間インジケータランプが4回点滅を繰り返します。

メモ

- ・通報中にリモコンの操作ボタンを押すと、通報音を停止できます。
- ・警告・警報後は警戒状態に戻り、再度異常を検知すると警告・警報します。

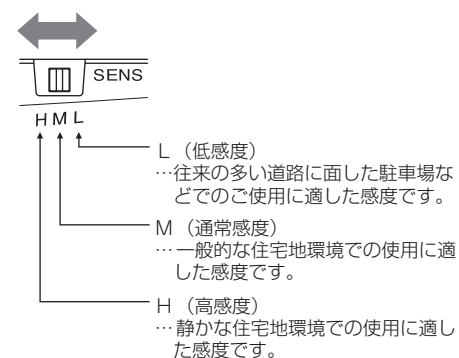
頻繁に衝撃による警告や警報が鳴ったり、反応が悪い場合は、衝撃感度を変更してご使用ください。

衝撃感度の切替

お買い上げ時 M

センサーユニット側面の感度設定スイッチで衝撃感度の設定ができます。

- ※ 駐車場周囲の環境や車に合わせて衝撃感度を選択してください。
- ※ 周囲の環境により頻繁に警報が鳴るような場合は、下記の内容をご確認ください。
 - ・感度を下げて確認してください。
 - ・エアコンの吹き出し口が外気導入になっている場合、内気循環にしてください。
- ※ 強衝撃と弱衝撃の感度は連動して設定されます。(個別に設定することはできません)



ローバッテリー通知について

センサーユニットの電池容量が低下すると、リモコンに通知します。
センサーユニットの電池容量が低下していると、警戒を開始できません。

■センサーユニットの電池容量が低下すると…

センサーユニット	リモコン
センサーユニットから「ブブ ブブ」音が鳴りお知らせし、リモコンに電池容量の低下を通知します。 ※警戒は継続します。	・通知音 『ブブ ブブ』 ・インジケータランプ2回点滅

■さらに電池が消耗すると…

センサーユニット	リモコン
・警戒を解除します。 ・警戒解除をリモコンに通知します。	・通知音 『ピュピュ』 『ブブ ブブ ブブ』 ・インジケータランプ3回点滅

ご注意

専用電池が消耗してローバッテリー通知があったときは、必ずシガープラグコードを使って2時間以上充電をしてください。

警戒を解除する（警報停止）

警戒中にリモコン操作またはエンジンキーで警戒を解除できます。
※警戒中は警報を停止して、警戒を解除します。

リモコン操作による警戒解除（警報停止）

操作確認音「ピッ」が鳴るまで操作ボタンを押す

※センサーユニットの赤外線受光部にリモコンの赤外線送信部を向けて操作してください。（▶12ページ「リモコンを使って警戒（警報停止）する」）
※リモコンの操作範囲内で操作してください。
※リモコンでの警戒/解除操作は赤外線のため、ボディカバーなどの遮蔽物があると操作できません。

エンジンキーによる警戒解除（警報停止）

エンジンをかける（エンジンキーをACCまたはONにする）

※シガープラグコードを接続していないと警戒を解除できません。



●警戒を解除すると・・・

センサーユニットから作動音「ピュピュ」（サイレントモード選択時は無音）とLEDランプが3回点滅し、警戒解除とともにリモコンに警戒の解除を通知します。
リモコンから通知音「ピュピュ」が鳴り、警戒の解除をお知らせします。

リモコンの電池交換

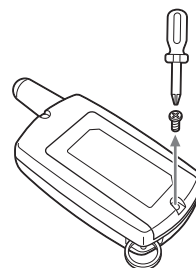
操作や通報がないのにリモコンのインジケータランプが点滅（4.5秒おきに1回点滅）したら、ボタン電池寿命です。早めに新しいボタン電池（CR2032）と交換してください。

※本機リモコンには工場出荷時、ボタン電池を装着してありますが、このボタン電池はモニター用のボタン電池で記載されたボタン電池寿命より短い期間で切れることがあります。
ボタン電池を交換する場合は下記手順でボタン電池を交換してください。

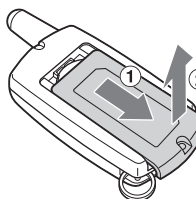
交換手順

1. リモコン裏面のネジを外す

※ネジ、部品の紛失に注意してください。また、ネジの大きさに合ったドライバーを使用してください。ネジのつぶれの原因となります。

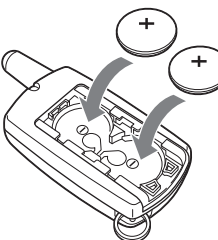


2. 電池カバーを矢印方向にスライドさせ、持ち上げる



3. 古いボタン電池を取り出す

4. ボタン電池の向きを確認してセットする



5. 電池カバーを取り付け、ネジを締める

6. 操作ボタンを5秒以上押しリモコンの電源をONにする

ボタン電池寿命の目安

1日に8回のボタン操作で約5カ月使用できます。（当社測定値）

△注意

- ！ ボタン電池の寿命は使用する条件によって異なります。
- 指定のボタン電池（CR2032）以外は使用しないでください。
- 交換するときは、必ず2つも新しいボタン電池と取り替えてください。また、交換時にはボタン電池の向きを間違えないようご注意ください。

△警告

- ！ 使用済みのボタン電池は、火中に投げ入れないでください。爆発して、火災・やけどの原因となることがあります。また、事故防止のためリモコンのボタン電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

こんなときは？

故障かな？と思われた場合や困ったときは、下記をご参照ください。それでも解決できない場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

こんなときは	処 置
センサーユニットから『ブーブー』が鳴る	• センサーユニットの専用電池容量が低下しています。シガープラグコードを使って2時間以上充電を行ってください。
充電できない	• センサーユニット専用電池のコネクタが、しっかり奥まで刺さっているかを確認してください。 • 専用電池が消耗してローバッテリー通知があったときは、必ずシガープラグコードを使って2時間以上充電をしてください。 • シガープラグコードで充電できないときは、シガープラグコード内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。
警戒を開始できない(スキッピング動作にならない)	• センサーユニット専用電池のコネクタが外れていませんか。専用電池の接続を確認してください。 • エンジンキーがOFFの位置になっていませんか。
警告・警報しない	• サイレントモードに設定されていませんか。(☛ 9ページ「警戒モードの変更手順」)
センサーユニットからの通報を受信できない	• センサーユニットのアンテナの近くに金属(ピラー)などがあると、通信距離が短くなります。金属部より5cm以上離れた場所に取り付けてください。センサーユニットのアンテナの角度を調整することで、通報を受信しやすくなる場合があります。 • リモコンのアンテナに手を触れていませんか。 • 周囲の電波状況によっては、センサーユニットの電波がリモコンに届かない場合があります。
リモコンで操作できない	• リモコンの電源がONになっていますか。(☛ 7ページ「リモコンの電源をONする」) • リモコンの電池容量が低下していませんか。(インジケータランプが点滅していませんか)(☛ 15ページ「リモコンの電池交換」) • リモコンの赤外線送信部を手で塞いでいませんか。 • 赤外線受光部とリモコンがピラーなどで遮られていますか。センサーユニットとリモコンが離れていませんか。操作できる範囲は2m以内です。(☛ 12ページ「リモコンを使って警戒(警報停止)する」)
リモコンのインジケータランプが点滅している	• リモコンの電池容量が低下しています。電池を交換してください。(☛ 15ページ「リモコンの電池交換」)
自動警戒モード設定中にガソリンの給油や荷物の積み下ろしなど、警戒状態になっては困る	エンジンキーをOFFにしてから、次のいずれかの操作を行ってください。 • リモコンの操作ボタンを1回押す。自動警戒モードを一時的にOFFにできます。(センサーユニットの赤外線受光部にリモコンの赤外線送信部を向けて操作します) • センサーユニットのMODE(モード)スイッチを押して、自動警戒モードをOFFにする(『ピービッ』、『ピーピービッ』を選択する)(☛ 9ページ「警戒モードの変更手順」)
エンジンスターターと併用する場合は	• 付属のシガープラグコードを接続し、自動警戒モードをONにしてご使用ください。警戒中にエンジンがかかる(ACCがONになると)警戒を解除し、アイドリングが終了すると約1分後に警戒状態になります。

仕 様

【センサーユニット】

- 電源電圧 DC12V(入力電圧)
- 使用電池 DC3.6V(専用ニッケル水素電池)
- 送信周波数／出力 420MHz帯／ 1mW以下(電波法適合品)
- 消費電流 充電中… 急速充電：約270mA(最大)
トリクル充電：約70mA
警戒中… 約2.5mA
警報中… 約500mA
- 警報音圧 90dB/m(サイレン)
- 動作温度範囲 -20℃～+85℃
- 本体外形寸法 66(W)×33(H)×90(D)mm (アンテナ含まず)
- 本体重量 105g(電池含む)

【リモコン】

- 使用電池 ボタン電池CR2032(2個)
- 電池寿命 約5カ月(1日8回操作)
- 送信部 赤外線式/通報受信：420MHz帯
- 動作温度範囲 -10℃～+50℃
- 外形寸法 34.0(W)×60.5(H)×17.0(D)mm (アンテナ部を含まず)
- リモコン重量 28g(電池含む)

※仕様や外観などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

※ この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTM、® マークは明記していません。

アフターサービスについて

1. 保証書(本取扱説明書に付いています)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

2. 保証期間

お買い上げの日から1年間

3. 対象部分

機器本体(電池等消耗部品を除く)

4. 修理をご依頼されるとき

「こんなときは?」(●16ページ)を良くお読みください。
それでも症状の改善がないときは、状況をなるべく詳しくご連絡ください。

●保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで保証書とともに、機器一式と電池を取り外してご持参ください。保証書の内容にしたがって修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理いたします。

5. アフターサービス等についてご不明な点は

お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

※修理中の代替機等の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。

ユビテルご相談窓口一覧

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

取付、取扱方法に関するお問い合わせ

受付時間 10:00~18:00(年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター TEL. (0564) 45-6515

故障相談や修理のご依頼、販売店の紹介に関するお問い合わせ

受付時間 9:00~17:30 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

地 区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部 TEL. (011) 618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北8条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部 TEL. (022) 284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡	東京営業所・サービス部 TEL. (03) 3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・長野・福井	名古屋営業所・サービス部 TEL. (0564) 66-8411 〒444-2144 愛知県岡崎市岩津町檀ノ上3
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部 TEL. (06) 6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部 TEL. (082) 230-1711 〒731-0135 広島県広島市安佐南区長束1丁目34-22 長束ビル102
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部 TEL. (092) 552-5351 〒815-0035 福岡県福岡市南区向野2-3-4-2F

●上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

●電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

<無料修理規定>

- 記載の保証期間内に、本書に従った正常な取り付け・接続、使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。尚、本製品を取り付けたことによる車の故障や事故等の付随的損害については、一切その責任を負いません。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご購入時ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - (チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換

5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

修理メモ (症状をなるべく詳しくご記入ください。
「故障内容」「取り付け車種・年式」)

※ 本書を紛失しないよう大切に保管してください。
※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。
※ 保証期間経過後の修理について詳しくはアフターサービスについてをご覧ください。